

会 議 録

会 議 の 名 称	平成26年度 第1回 東由利まちづくり協議会
開 催 日 時	平成26年5月26日(木) 午後6時00分～午後7時32分
開 催 場 所	東由利総合支所 2階会議室
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
<p>【会議次第】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 委嘱状交付3. 会長あいさつ4. 支所長あいさつ5. 案件<ol style="list-style-type: none">(1)総合計画地域別整備方針について(2)その他<ul style="list-style-type: none">・今後の協議会開催スケジュールについて6. 閉会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

平成26年度 第1回 東由利まちづくり協議会

平成26年5月26日(月)

午後6時00分 開会

1. 開会(進行:振興課長)

ただ今より平成26年度第1回東由利まちづくり協議会を開催いたします。

2. 委嘱状交付

3. 佐々木会長あいさつ

4. 伊豆総合支所長あいさつ

5. 案件

○議長

それでは、案件(1)総合計画地域別整備方針について、事務局より説明後、各部会よりご報告いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○資料により振興課長が説明

○資料により各専門部会が説明。

○議長

ありがとうございました。

各専門部会よりお話がありましたが、全体を通しまして、ご意見ご質問をお願いします。

○OA委員

コミュニティバスの運行に関して、自治会長さんとかの意見を聞くとか、分館長さんに運行経路について相談されるとかというような予定はあるのでしょうか。まだ、そこまでは進んでいないのでしょうか。

○振興課長

コミュニティバスについては、専門部会でもいろいろな交通弱者(高齢者、子ども含む)の方々が、買い物や医療機関に行くための手段として、バスを走らせることができるのでないかということでした。

現段階では東由利全体のアンケートを取らせていただき、協議会でご意見を集約していただきたいと考えています。今年度中にアンケートを行ってみたいと考えています。

○議長

他にご質問ございませんか。

○OB委員

コミュニティスクールの推進とありますが、具体的にどういふことなのか、ご説明できるものがありましたらお願いします。

○教育・防災に関する部会長

コミュニティスクールは、学校運営を地域とPTAと保護者と一緒にやるのが基本的なコミュニティスクールの考え方です。今後子どもが少なくなり、PTA保護者も少なくなると、学校運営そのものがうまくいかないということになれば、地域の人のかも借りながら、しかも地域の人に責任を権限をある程度与えないといけないということで、地域と学校と保護者と子どもたちと一緒に含めたうえで、学校と一緒に作っていきましょうというのがコミュニティスクールの考え方です。

○OC委員

地域内での生活が完結できるように道路網の整備を進めると書いてありますが、具体的にどのような道路網の整備を考えているのでしょうか。

○産業・建設に関する部会長

道路が狭く、冬期間は車が交差できないなどの部分を改善していく必要があると思います。現在の道路も年月が経ってかなり傷んできている部分もありますので、集落と集落を繋ぐ道路の整備が必要ではないかという話がありました。

○OD委員

全体的に東由利の人口が、昭和31年の時は約1万人、平成17年には約4千人、現在が3,750人です。これに対しての阻止、人口増を図れるようなものが何か欲しいなと思っております。

東由利の特産になるもの、東由利でなければ販売できないもの、生産できないものを何か見出したいといろいろと考えているのですが、東由利の活性化に繋がると考えていますので、お互いに見出していただければいいなと思います。

○総合支所長

人口対策につきましては、どこの地域も同じでありまして、このあと6月から9月にかけて具体的な施策を皆さんから専門部会、協議会にかけて検討していただきますので、その時に特産品も含めて検討していただければと思います。今の整備方針の中に入れていくということであれば、9月にもできると思いますので、まずは部会で今の課題について今後検討していただければと思います。

○E委員

流雪溝の蓋の重さにとっても難儀しています。何とかならないものでしょうか。

○建設課長

流雪溝の蓋については、車の荷重に耐えられるようになっていきます。今後素晴らしい製品が出て、安いもので軽くて丈夫なものであれば、変えることも可能だと思いますけども、今の段階では、あの重さのものになります。

○議長

やはり高齢化が進むにつれて、あの流雪溝の蓋の重みにはだいぶ苦労しております。なにか軽いものがないのかと思いますが、それなりのもので今課長が言ったような車が通っても危なくないようなそれが基準だと思いますので、高齢化が進むにつれて、大変な毎朝の仕事になれば1週間も10日も続くときがありますので、是非これも合わせてお考えいただきたいと思います。

他にございませんか。

○B委員

流雪溝の蓋がスライドできるような製品はどこかで作っていますか。

○建設課長

スライド式になると段差が出来てしまう可能性が考えられるので、使用しているという例は記憶にありません。

○F委員

これからの方針ということでお話ししているわけですが、今現在の我々が生活している中で、不便だとか不満だとか、大変だなということを各専門部会でもう一回洗い出しをして、今後の方向性というか現実的なものを方向づけていければいいのかなと考えます。前向きに考えるのも必要かもしれませんが、現状や不便なところをもう一回洗い出してみてもどうかと思います。時間的にも時期的にもまだ早い段階だと思いますので。

○議長

各専門部会で一度持ち帰って考えていかなければならないものもあると思います。

他の委員の方々のお考えをお聞かせ願って纏めていきたい。今後の方向性のたたき台にしていければと思っておりますがいかがでしょうか。

今のことに限らずでもいいですけども、ご意見ご質問をお願いします。

○G委員

東由利のまちづくりを考えた場合、行政に頼むよりは、まず自分たちが主役になって、何かが出来ないだろうか、ということをもっと考えるべきではないかなと思います。

例えば持続可能なことで、自分たちが主役となり実行しているので少し行政が応援してくれるというような形で計画をしていかないと、いくら良い計画を立てても、2年後3年後誰がやるのか、誰が管理するの

か、というふうにならないように、地域が主役で持続可能なことと、ある程度結びつけながら考えていけたらいいと思います。

○総合支所長

共に進んでいくというのが、行政と住民の方々、今住民の方々が先頭を取って、それに行政がちょっとついていくような形になっていますけども、そういう形が理想となっています。大変良いご意見だと思います。

○議長

ありがとうございます。そういうスタイルでこのまちづくり頑張っていきましょう。他にございませんか。

○OG委員

限界集落が発生しかねないという表現を、新しいまちづくりを目指してやろうとしているときに、限界集落という表現は寂しい表現ですので、表現を少し変えた方が良くと思います。

○OD委員

私は、東由利のうまい空気、緑のところで育ったものが、何かでPRすれば、東由利でなければできない何かが見つかるのではないかと思います。そしてこのうまい空気、緑の豊かなところを活かせば活性化に繋がるのではないかと思います。みなさんで考えて東由利を良い方向に持っていこうと思います。

○議長

ありがとうございます。他にございませんか。(なし)

各専門部会から報告がありまして、いろいろな意見がございました。本当に貴重なご意見ありがとうございます。このあともまた少し一歩進んだ専門部会、いろんな協議の中でご意見を出していただくということで、ご質問はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。それでは、(2)のその他に入ります。事務局より説明をお願いします。

○今後の協議会開催スケジュールについて資料により説明(振興課 小松主査)

○議長

このスケジュールに沿った形で、これからまちづくり協議会を進めていきたいと思います。ご意見がありましたらお願いします。(委員一同 なし) ありがとうございます。

○総合支所長

本日は大変熱心なご意見をありがとうございました。今日、みなさんからいただいた整備方針については提出しまして、今度は具体的な施策についてご検討いただくということになります。よろしく願いたいと思います。

○議長

それでは、活発なご意見もあり、みなさんの熱心な議論もございました。
これで終わりになりますが、副会長に会を閉じて頂きたいと思います。

○副会長

お忙しい中お集まりいただきまして、本当にありがとうございました。これから6月～9月までにまとめなければいけないものがたくさんありまして、何回もお集まりいただき、部会も開催して激しい討論になるかと思いますが、健康に気を付けて、全員100%参加で会が進められますことをお願いしたいと思います。今日はありがとうございました。

【午後7時32分閉会】